

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		クラブ宇都宮校ANDY		公表日		令和7年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	児発の児童とは学習に取り組む時間帯や、部屋を分けている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	職員一人に対して最大三人の児童になるように配置している。	今後も継続していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	利用児の体格に合わせて、可能な限り設置している。	今後も都度確認をしていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	利用時間が終わり次第、おもちゃの片づけや、掃除機、消毒を行っている。	今後も継続していく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	臨機応変に様々な部屋を使用できるように配置を行っている。	今後も継続していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	5		保護者との面談の内容や、更新された個別支援計画などを、出勤のタイミングで全員が目を通すことができるよう回覧板を設置している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	満足度調査の内容を職員内回覧として全体に周知を行っている。	今後も継続していく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3	事業所内研修の際に打ち合わせも同時進行して行っている。	今後も継続していく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6		現在、外部評価を行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4	4	施設内研修は、全職員が参加できるように複数日で実施している。	今後も継続していく。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	5	職員全体で話し合い、支援プログラムの作成を行っている。	今後も継続していく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	2	保護者との日々の関わり合いの中で、ニーズや目指しているところを把握し、全体周知を行ったうえで作成を行っている。	今後も継続していく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	3	職員全体で意見を出し合い、作成を行っている。	今後も継続していく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	3	作成後、全職員が閲覧できるように回覧板を設置している。	今後も継続していく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	4	KIDS乳幼児発達スケールを今後使用していく。	今後も継続していく。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	4	保護者のニーズや、子どもの様子を理解したうえで作成している。	地域支援に関しては難しい状況となっているため、イベントの際などには近隣の方に声を掛けていくことも検討している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	4	職員全体でプログラムを策定し、担当の日に割り振る形式をとっている。	今後も継続していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	固定化はしているが、子どもの様子に合わせて臨機応変に対応を行っている。	今後も継続していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	2	集団活動の予定だったが、子どもの様子に合わせて、個別活動に切り替えることが可能なように準備を行っている。	今後も継続していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	6		全体での打ち合わせを月に一度行い、日頃から個人間でも共有をしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	5		個人間での共有や、優先順位が高い情報に関しては、LINEなどを用いて全体共有を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	日報の入力を行う前段階として、子ども一人ひとりの連絡帳を日々作成している。	今後は事業所で使用している日報のシステムアプリを使用していく検討をしている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	3	6か月に一度のモニタリングを実施しており、保護者からのニーズを聞き出している。	今後も継続していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	3	その日の様子を見ながら、適切な支援を提供している。	今後も継続していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	用意された課題の中から、自身にあった内容のものを選択できるよう準備を行っている。	今後も継続していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	5		会議への参加はないが、月に何度か相談支援事業所と電話でのモニタリングや、対面でのモニタリングを行っている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	4		児童が通っている小学校の担任の先生とは、送迎時などに様子の共有を行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	2	学校からの情報は、各家庭へのおたより等を保護者LINEで毎月送っていただいている。送迎に関して、道路状況などで遅延しそうな場合には必ず可能性の段階で連絡を入れている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	就学前から利用を行っていた児童に関しては、日頃から通っていた園と情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	保護者同意のうえで、他事業所に情報共有をすることは可能である。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	6		現状行っていない。今後検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7		現状行っていない。今後、地域に開かれたイベントの開催も考えていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	7		現状参加できていないため、今後検討していく。

保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達 の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時や面談時、イベントの際に保護 者とコミュニケーションを図り、ニ ーズや家庭での状況を共有している。	今後も継続していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支 援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の 参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	家族参加型のイベントを開催して おり、その際に子どもとは部屋を別 にして、情報交換等を行っている。	今後も継続していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な 説明を行っているか。	7	0	契約時に、重要事項説明書を用いて説 明を行っている。	今後も継続していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保 護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観 点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設 けているか。	7	0	6か月に一度のモニタリングの際に、子 どもの様子を伝え、家庭での様子を踏 まえて決定したものを作成している。	今後も継続していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説 明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を 得ているか。	5	2	作成した支援計画を保護者と読み込 み、同意を得ている。	今後も継続していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、 面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	面談モニタリング以外にも、ご連絡が あればいつでも話をできる機会を設 けている。	今後も継続していく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催す る等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支 援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機 械を設ける等の支援をしているか。	4	3	保護者会は現状存在していないが、イ ベントの際などに保護者と子どもを別 の部屋での活動に分け、情報交換が できる機会を設けている。	今後も継続していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備 するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった 場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1		今後も継続していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用 することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の 情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	3	LINEを用いて、行事予定などの出欠 席等連絡を行っている。	日報のシステムアプリの利用も検討 している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	鍵付きのキャビネットに保管して いる。 営業終了後には鍵をかけ、見えない ところに保管している。	今後も継続していく。
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝 達のための配慮をしているか。	7	0	日頃から送迎時には当日の様子や、先 生から伺った園での様子を伝えて いる。	今後も継続していく。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれ た事業運営を図っているか。	0	7		現状行っていない。今後、検討して いく。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マ ニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家 族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施 しているか。	6	1	事業所内に掲示してある。来年度、防 犯訓練を検討している。	今後も継続していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害 の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓 練を行っているか。	6	1	昨年10月に火事を想定した避難訓練 を実施した。	全児童が参加できるように複数実施 日を検討している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこども の状況を確認しているか。	7	1	アセスメントシートを用いて、ファ イリングを行い、いつでも閲覧が可 能な状態にしている。	今後も継続していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指 示書に基づく対応がされているか。	5	3	食物アレルギーのある児童に対 して、適切に対応できるよう職員 内で共有していく。	今後も継続していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、 その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分され た中で支援が行われているか。	5	2		来年度、防犯訓練を検討している。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図 られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家 族等へ周知しているか。	4	3	有事の際には、すぐに保護者と 連絡が取れるよう、連絡先を一つ の書類にまとめて、非常用持ち 出し袋の作成も進めていく。	今後も継続していく。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に 向けた方策について検討をしているか。	3	4		有事の際には事故報告書を作成し、 職員全体で確認・閲覧できるよう 保管場所を共有している。	

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	4	日頃から全職員で話し合いを行い、新たに入職した職員に対しても研修をしていく。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	4	利用契約の際に同意書を用いて、保護者への説明を行っている。新しい職員に対しても同様に研修をしていく。	